



# 吉田 雄次 議員

Yuji Yoshida



YouTube



## 11 住み続けられるまちづくりを さくら市の観光振興について

### ▶ 持続可能な観光振興を進められればと考える

**Q** 市内観光資源及び農産物のPRについて。

**A** 5月から商工観光課に配属された、地域おこし協力隊がInstagram等で、市内の観光名所やイベント等を情報発信している。令和7年8月には再生回数が4万7000回を超えている。農産物については、JR主要駅のPRキャラバン、PRを目的とした各種マルシェの参加。情報発信できるようなマップ作成を研究検討したい。



栃木県さくら市地域おこし協力隊です!

**Q** 観光客をターゲットにした農業体験の創出について。

**A** シティプロモーション事業として、広域市町と連携した事業を実施している。さらに、農産物生産者、飲食店、宿泊施設、物販業者等の事業者と連携し、収穫体験と地元食材を使った料理教室、宿泊といった複合的な体験プログラムの可能性を探りたい。



## 6 安全な水とトイレを世界中に さくら市総合公園のゲートボール場のトイレ改修工事について

**Q** 洋式トイレに変更できないのか。

**A** トイレの老朽化状況や利用状況を勘案し、これまで計画的に進めてきたさくら市総合公園内には、ゲートボール場を含め5カ所設置されており、順次洋式化を進めている。今年7月には、利用者から洋式トイレへの改修を求める要望書が提出されており、そのため12月の定例会で補正予算を上程できるよう準備したい。



改修が求められるトイレ



永井 孝叔 議員  
Takayoshi Nagai



加藤 朋子 議員  
Tomoko Kato



3 福祉と健康 福祉の充実について

- Q 重度心身障害者医療費助成制度の現物給付実施に向けたスケジュールは。
- A 今後のスケジュール等は調整中。できるだけ早い時期に実施できるよう準備を進める。
- Q 福祉に関する常設相談窓口を設置すべきでは。
- A 令和6年5月から出張相談窓口として市役所内に相談員を配置し、相談の種類を問わず機能向上に努めている。現在出張相談窓口は週2回開設しているが、回数を増やせるか検討する。将来的には常設の相談窓口ができるように進める。



その他の質問  
◆屋内温水プールの建設について

11 都市づくり 桜市役所本庁舎の整備について

- ▶新庁舎建設は重要なプロジェクト
- Q さくら市本庁舎は築56年経過。老朽化、スペース不足、防災拠点として機能不足等の問題を抱えている。そこでさくら市新庁舎整備基本構想を策定し、新庁舎整備に着手すべきでは。
- A 新庁舎建設までには庁舎建設基金の積立てに要する期間を考慮すると、検討を開始してから着工までに、15年ほど期間を要すると想定している。重要プロジェクトの最初の一步目を確実に歩み出す事を念頭に、先行して庁内に検討組織を設ける。
- Q 庁舎建設基金をどの程度積み立てたら建設に着手するのか。
- A 他の自治体の事例等を参考にすると、本市の新庁舎建設事業費は約80億円と想定される。今後目標額に向けて庁舎建設基金の確保に積極的に努める。
- Q 新庁舎建設までのスペース不足の対応は。
- A スペース不足の解消効果を最大限発揮できる手法を検討している。



山形県長井市役所(駅舎一体型)

11 都市づくり 居場所づくりについて

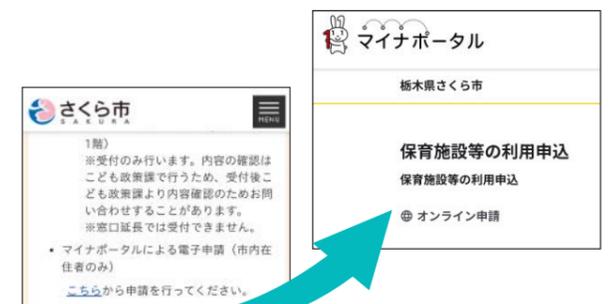
- Q 「居場所」の重要性が増しているが今後の在り方を問う。中高生の居場所づくりは。
- A 氏家、喜連川両公民館の一室を、居場所として確保できると考えている。
- Q 不登校児童生徒の居場所は。
- A 令和6年度の不登校生徒数は小中併せて152名。居場所としては適応支援教室「つばさ」、校内支援教室及びフリースクール等がある。さらに支援の充実を図っていく。
- Q 市内3カ所の常設サロンへの支援は。
- A 事業者に多大な負担をかけている現状は大きな課題であり、必要な支援を行う。
- Q 空き家や遊休施設等を利活用する考えは。
- A 空き家は増加傾向にあり、利活用計画、支援制度について制度設計を進めていきたい。



適応支援教室「つばさ」(12月活動報告会)

11 都市づくり 子どもの施策のさらなる充実を求める

- ▶「子どもの笑顔があふれる未来へ」を目指して施策を進める
- Q 保育園児のために、※おむつサブスクを導入する考えは。
- A 市内認可保育事業所へのアンケート結果は消極的だったが、調査研究を続ける。
- Q 保育園入園申し込みをオンラインで行う考えは。
- A 既存の制度を精査し、周知していく。
- Q 学校に複数担任制の導入は。
- A 4月から押上小学校で、教科担当の入替え、合同授業、合同活動等を行っており、更なる調査研究を進めていきたい。



オンライン申請(マイナポータル)

※おむつサブスク  
月額定額制で保育施設に直接紙おむつ・おしりふきが届けられるサービス。